



平成25年度

大牟田市議会 議会報告会

平成25年8月



第1部

**昨年度の議会報告会で出された
意見等に対する議会の対応について**

第1部の構成

昨年度の議会報告会で出された市民意見への議会としての対応結果のうち、次の2項目について報告します。



- 1. 光ファイバー未整備地域の解消**
- 2. 近代化産業遺産の保存・整備**
- 3. その他**

1. 光ファイバー未整備地域の解消に向けて

23年10月	議会報告会で要望が出される
23年11月17日	前記に関連して陳情書が提出される
23年12月7日	総務委員会で陳情審査
23年12月	本会議においても複数の議員が質問を行う
23年12月26日	総務委員会で論議
24年 3 月	実態把握のための「地域情報通信基盤調査費」が予算計上
24年度	地域情報通信基盤調査を実施（24年12月6日の総務委員会において報告）



陳情者による意見陳述を受け、行政担当部局に実態等を確認し、論議、市行政への働きかけ

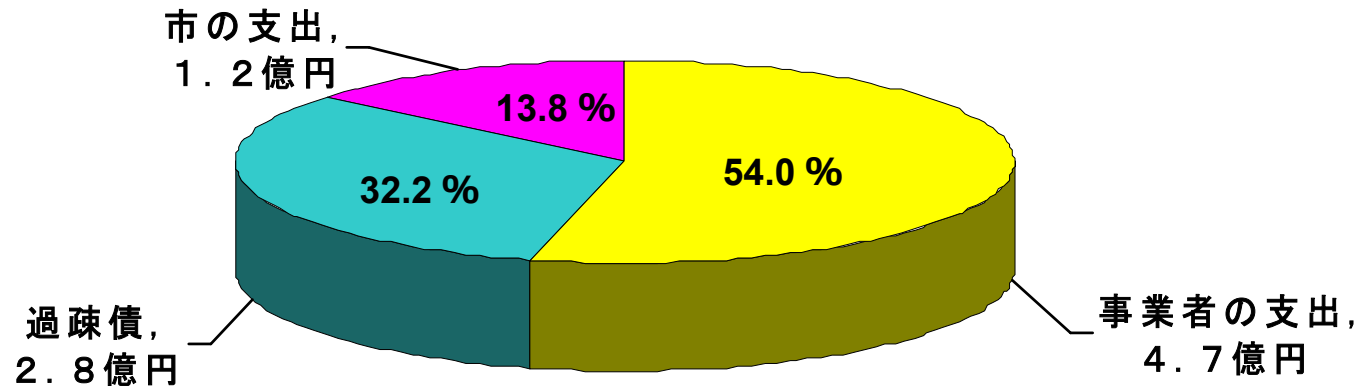
整備事業の内容

24年度に行った「大牟田市地域情報通信基盤調査」の結果をもとに、将来の維持管理費を要しない民設民営方式を前提として、平成25、26年度の2ヵ年で整備を図ることとした。



事業費及び今後のスケジュール

通信事業者による総事業費
8億7,000万円（想定）と内訳



スケジュール（予定）

25年4月～5月

通信事業者発注仕様書の作成

25年7月～8月

通信事業者の選定

25年8月～9月

補助金交付対象事業者の決定

25年11月頃～工事期間（12ヶ月程度）

2. 近代化産業遺産の保存・整備について

(1) これまでの経過

①23年度議会報告会

「市民周知が不十分。経費の使われ方や、それが妥当なのかわからない」、「(世界遺産に)登録されれば誇りに思うが登録の効果は」、「教育や福祉や安心安全のまちづくりに経費を費やすべき」等の様々な意見、要望が述べられた。

②23年12月7日・21日(総務委員会で論議)

「全体像、予算、市民周知の三点について行政の対応を求めるべき」という討議結果を取りまとめた

③23年12月本会議において全会一致で決議を可決(以下、決議文の要約)

1.全体像については、**本来の目的・趣旨、将来の維持管理計画、経済効果などのビジョンを取りまとめ、市民・議会へ公表すること。**

2.本事業のための予算については、**最小限に抑えるべき**であり、費用対効果を検証して明確にすること。

3.市民周知については、全体像と予算についての**説明責任を果たす**とともに、本事業に対する市民理解が得られ、世界遺産登録への機運が高まるよう努めること。

④24年2月23日（市長からの回答受理）

市長からの回答

市長

全体像について

⇒ 「近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン」を策定。
今後のまちづくりへの理解をいただきたい。

予算について

⇒ 文化庁をはじめ、国・県等の補助財源を効果的に活用し、
少しでも一般財源の負担がないよう取り組む方針。

市民周知について

⇒ 更なる広報活動に取り組む必要があると認識。本市主催により説明会を全地区公民館で開催。

現在も 本会議での質問の場などを通じて、回答事項が守られているかをチェック している

議会

(2) 事業計画の見直し

概算事業費

単位：千円

	概要	22、23年度		24年度		25～26年度	
		計画	実績	計画	予定	計画	予定
世界遺産に係る費用（当初見込み）							
宮原坑跡修復	巻揚機室修復工事 白坑社宅修復工事	44,500	36,341	100,000		300,000	
宮原坑跡駐車場整備	用地取得、設計委託 駐車場整備工事	200,000	102,008				
旧三池炭鉱専用鉄道敷測量調査	地形測量、用地測量	10,000	7,665		29,100		
旧長崎税関三池税関支署整備	修復工事、外柵工事	184,340	174,894		2,000		
保存管理計画策定	業務委託	5,000	5,000		5,000		
まちづくりプラン策定	業務委託	5,000	4,578				
看板案内板等設置	設置工事	40,000	28,986				
「近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン」に掲げる費用							
石炭産業科学館整備	映像ソフト制作、整地等	70,000	69,792	330,000			
三川坑跡整備							
電気機関車等移設							
合計		558,840	429,264	430,000	36,100	300,000	0

資料：「大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン」（平成24年9月）を加工編集

■世界遺産に係る事業

宮原坑跡



文化財保存に係る事業

【修復調査】

- ・地質調査
- ・構造調査
- ・巻揚機調査
- ・豎坑櫓調査
- ・採取コアサンプル試験

三池炭鉱専用鉄道敷



文化財指定に係る事業

【測量調査】

- ・地形測量
- ・用地測量

旧長崎税関三池税関支署



文化財保存に係る事業

【修復調査】

- ・修復調査等

【修復工事】

- ・解体・修復工事

白坑社宅跡



施設整備事業

【修復工事】

- ・水道設置
- ・一部床補修
- ・防水補修
- ・一部畳入替え
- ・腐食部修復

■世界遺産に係る事業(つづき)

宮原坑跡



施設整備事業

【駐車場整備】

- ・ 整地・舗装
- ・ ラインひき
- ・ 付帯工事

世界遺産看板



ソフト事業

【看板設置】

- ・ 看板・案内板設置

■「近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン」に掲げる事業

映像ソフト



啓発事業

【映像ソフト】

- ・ 映像ソフト制作（４種類）

石炭産業科学館内整地



整地等

その他の意見・要望に対する 主な議会対応と現状

1. 世界遺産候補地（宮原抗跡）周辺の道路整備

- ア) 平成24年度議会報告会で要望
- イ) 市議会に地域から陳情書（要望書）提出（平成24年8月27日）
- ウ) 都市環境経済委員会において陳情審査
- エ) 地域要望に沿って、周辺の道路整備（現在工事中＝工期9月末）

2. 手鎌南川付近の浸水対策

- ア) 平成24年度議会報告会で要望
- イ) 各議員より本会議等で質問
- ウ) 調整池設置に向けた測量を実施
- エ) 平成25年度～27年度の計画事業費2億7,700万円で調整池を設置

その他の経過報告

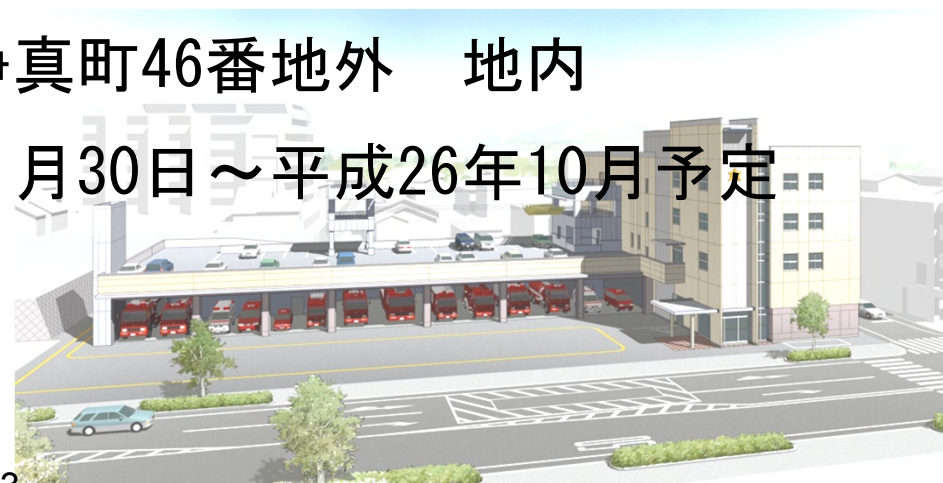
■ 中学校給食について

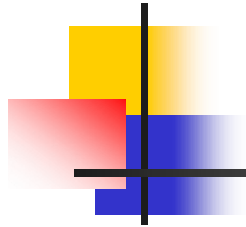
実 施 方 式 ⇒ センター方式
センター建設地 ⇒ 旧諏訪小学校跡地
実 施 時 期 ⇒ 27年4月



■ 大牟田市消防庁舎建設について

建 設 地 大牟田市浄真町46番地外 地内
工 期 平成25年3月30日～平成26年10月予定





第2部

議会活動や議会改革の 取り組みについて

第2部の構成

議会活動や議会改革に関する取り組み状況について報告します。

1. 「三川坑跡の保存・活用に関する決議」について
2. 議会改革の取り組みについて

三川坑跡の保存・活用に関するこれまでの経緯について

平成9年2月18日	市行政より、市議会全員協議会に、閉山対策の一環として「大牟田市における近代化遺産及びその他炭鉱関連施設の保存整備方針について」を説明
平成13年5月	大牟田商工会議所より、産炭地域新産業等創造事業を活用した三川坑整備の提案
平成13年12月	市より三井石炭鉱業(株)三池事業所に対し、三川坑跡石炭関連施設の保存協力を要請
平成14年10月	大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブより、市に対し、「三川坑保存と活用を求める署名」の提出
平成22年11月	大牟田市文化財保護審議会が「市として何らかの保存活用の手立てを考えるべき」と答申
平成22年11月	「三川坑」整備・活用に関する陳情 (三池港三川地区振興会、みなと校区運営協議会、天領校区運営協議会、三川地区商店街連合会、三池港開港百周年三川地区推進協議会)
平成23年9月	市行政より、「大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン（素案）」が総務委員会に報告
	パブリックコメント実施

三川坑跡の保存・活用に関するこれまでの経緯について（つづき）

平成23年11～3月	7地区公民館において地域セミナー、経済団体へ説明会を開催
平成24年9月	市行政より、「大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくりプラン」が総務委員会に報告
平成24年10月	市内10会場において地域説明会、経済団体等への説明
平成24年11月3日	近代化遺産の一斉公開にあわせ、三川坑を一般公開
平成25年1～2月	三川坑保存に関する署名活動（大公連、経済界） 「三池港、三川坑跡及び旧三井港倶楽部の保存・活用に関する意見書」（大牟田商工会議所）
平成25年2月	三川坑跡についてコークス工業と正式協議に入ることの総務委員会への報告
平成25年3月18日	日本コークス工業本社への要望行動
平成25年3月26日	三川坑跡の保存・活用に関する決議を可決

三川坑跡の保存・活用に関する決議



本市が三川坑跡の保存・活用を検討するに当たっては、以下の事項を踏まえて取り組まれない。

記

1. 三川坑跡の保存・活用を検討するに当たっては、市民・議会への丁寧な説明と意見聴取、情報の公開に努めるなどして、市民・議会の理解と合意を得ながら進めること。その前提として、市民や団体・専門家などからなる組織を立ち上げて、十分に議論すること。
2. 三川坑跡の保存・活用に関する費用については、国・県や関係機関などの支援を最大限求めながら、本市の負担を極力少なくすること。

以上、決議する。

平成25年3月26日

議会決議後の動き

平成25年3月27日

平成25年3月18日に、市長らが三川坑跡を所有する日本コークス工業に市への無償譲渡の要望を行い、これに対する同社からの回答を受け、市の今後の対応について総務委員会で報告を受けた。以下、その内容。

- 整備・活用については、広く市民、関係者との協議・連携を図りながら、保存・整備方針の検討を行う。
- 見学者への安全対策、台風等による近隣家屋への対策、施設保全のための警備体制についての検討、譲渡面積確定のための境界立会、測量等を行っていく。

平成25年6月

6月の本会議において審議会設置条例、上記諸費用にかかる補正予算計上

議会決議後の動き（つづき）

平成25年7月11日 大牟田市近代化産業遺産を活用したまちづくり協議会が設立

三池炭鉱関連の近代化産業遺産を市民、団体、企業等多様な主体の参画により、施設の保存活用、イベントや各種啓発事業を実施し、近代化産業遺産を活用したまちづくりを推進していく。

平成25年8月1日 三川坑跡活用検討審議会が設立

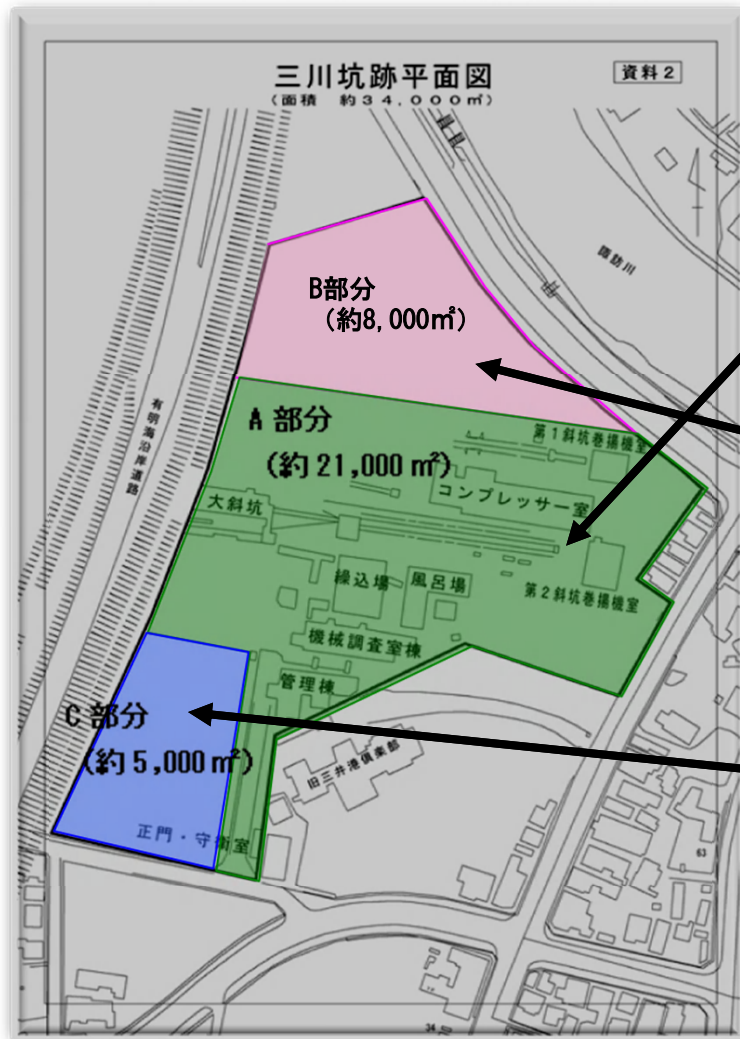
三川坑跡の保存・活用に係る基本構想の策定、その他周辺施設を含め、保存・活用に関し必要な事項について調査審議する。

平成25年8月末以降 三川坑跡及び周辺施設を考えるみんなの会議が設立

三川坑跡の保存・活用及び周辺施設との一体的活用について、多くの方の意見を集約し、三川坑跡活用審議会へ意見・提案としてまとめていく。

議会決議後の動き (つづき)

日本コークス工業からの回答及び図面



A部分：建物、機械類が残っている土地。無償譲渡を行う。

B部分：現在土地利用を行っている土地。譲渡困難。

C部分：自社で活用を考えている土地。無償譲渡は困難だが賃貸での協力は可能。

2. 議会改革の取り組みについて

(1) 決算特別委員会

以前までは・・・

- ①行政サイクルでは、10月～11月は次年度予算編成の終盤。
10月に行う決算特別委員会では、議員が述べた意見等が次年度予算に反映できる時期とは言えない。
- ②意見・要望は数多く出されるが、議会としての合意形成を図っていない。

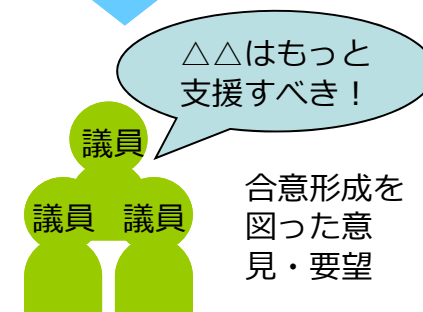
個々の意見・要望



各々が意見・要望を述べていた

改革の内容

- 9月本会議の会期中に決算特別委員会を開催
- 議会としての合意形成を図るための仕組みをつくった
⇒ 各会派から委員を選出し、協議の場を設定



合意形成を図った意見・要望

次年度予算に対する考え方について市長に回答を求める

決算特別委員会で合意形成を図った 意見・要望

24年9月の決算特別委員会では、次の3点を議会としての意見・要望として、25年度予算をはじめとした各施策への反映を働きかけた。

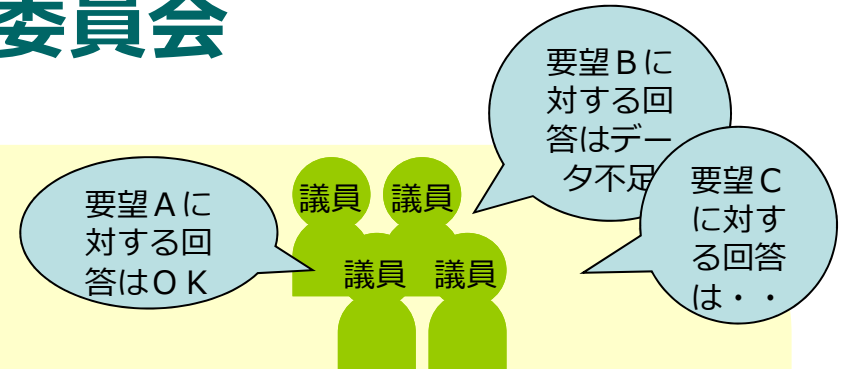
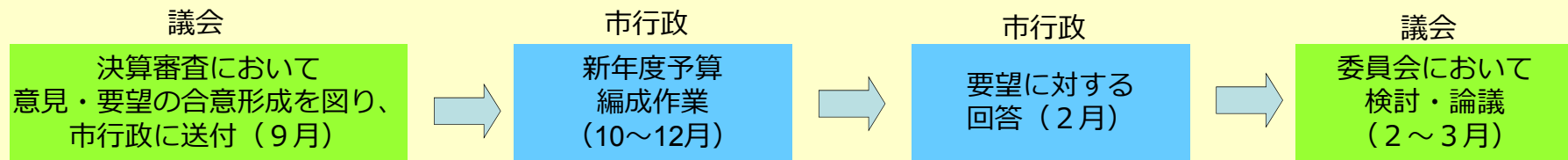
1. 食の安全対策については、食品衛生監視体制を充実されたい。
2. 固定資産税については、他市に比べて超過税率になっていることから、企業誘致、産業振興の観点からも、段階的に税率の逡減に努められたい。
3. 公立小・中学校の施設・整備については、早急に補修や改善の必要なところも十分な対応ができていないため、予算の確保を図って改善・充実に努められたい。

(2) 予算特別委員会

改善を図った点

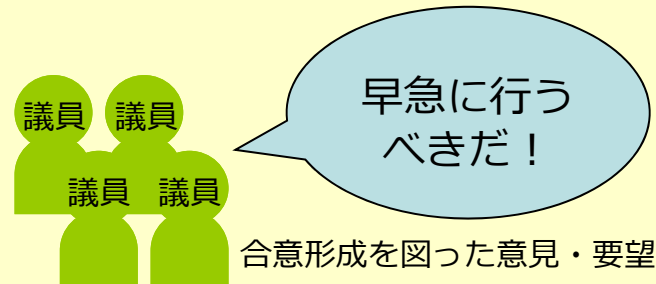
○政策等調整委員会の開催

(決算特別委員会での意見・要望のうち、議会として合意形成を図った意見・要望等に対する市行政の考え方について検討・論議)



○決算特別委員会と同じように議会としての合意形成を図るための仕組みをつくった

⇒各会派から委員を選出し、協議の場を設定



(3) 議会からの意見・要望による 第2期実施計画の主な事業

事業名称		実施年度	事業費・事業内容
中学校給食推進事業		平成25～26年度	計画事業費12億円（基本設計、実施設計、建設工事等）
安全で快適な学校施設の整備	学校施設耐震化推進事業	平成25～27年度	計画事業費13億2,357万2千円（小中学校の校舎・体育館の耐震診断及び耐震補強工事、外壁改修工事）
	「学校施設大規模改造計画」の策定	平成26年度	計画事業費300万円
地域情報通信基盤整備事業		平成25～26年度	計画事業費4億600万円（光ファイバー（情報通信基盤）未整備地域の解消）
食品衛生対策の推進	食品衛生対策事業	平成25～27年度	「食品衛生監視指導計画」に基づく監視指導、食品衛生に関する情報提供等
	保健所検査室整備事業	平成25～27年度	計画事業費4,373万円

議会からの意見・要望のうち反映されなかった事案

決算特別委員会で合意形成を図った議会からの意見・要望のうち、次の事項については反映されなかった。

意見・要望

固定資産税については、超過税率（1.6%）になっていることから、企業誘致、産業振興の観点からも、段階的に税率を標準税率である1.4%に戻すよう求めた。



回答

2年連続の実質収入黒字となっているが、未だ財政構造の抜本的な改善が果たせたとはいえない状況にあり、現時点では、標準税率に戻すことは困難である。

議会としては、今後も標準税率に戻すよう求めています。

(4) 市議会だより改善の取り組み



平成23年8月～

- ・議会報編集委員会が主体となり、企画・編集を行い紙面をリニューアル。
- ・縦書きを横書きとし、色を白黒から二色に。
- ・特集記事、連載記事、委員会レポート、トピックス記事等、議会活動全般を伝える構成に。
- ・11月に外部の研修機関が行う議会広報研修を受講(3名)

平成24年5月～

- ・表紙、最終面をカラー化。
- ・関係団体の協力により、音訳、点訳版を作成。

平成25年5月～

- ・代表質問、一般質問の紙面の充実。

市民意見の反映

議会報告会で出された市民意見は
以下のように集約して反映に努めています

市民意見についての、集約・分類と公表

- (1) 市行政に対する発言で、委員会で継続的に検討を行うもの
- (2) 市行政に対する発言で、市当局につなぐ方がよいもの
- (3) 議会に対する発言で、関係委員会で継続的に検討を行うもの
- (4) 議会に対する発言で、摘録にして議員で供覧を行うもの

集約・分類、公表後には・・・

- (1) ⇒ 常任委員会で検討を行い、市長等へ要望及び提案を行い回答を求める
- (2) ⇒ 議員がさまざまな議会活動を通じて市民意見の反映に努める

お知らせ

インターネットでは、本会議や予算・決算特別委員会の模様をご覧いただけます。生中継、録画中継で配信していますので、ぜひ、アクセスしてみてください。



ご清聴ありがとうございました。
皆様のご意見をお聞かせ下さい。